

3月

新着本の紹介



青字は児童書

書名	著者名	内容
黄色い家	川上 未映子	十七歳の夏、親もとを出て「黄色い家」に集った少女たちは、生きていくためにカード犯罪の出し子というシノギに手を染める。危ういバランスで成り立っていた共同生活は、ある女性の死をきっかけに瓦解し… …。人はなぜ罪を犯すのか。 2024年本屋大賞ノミネート作
水車小屋のネネ	津村 記久子	「家出ようと思うんだけど、一緒に来る？」身勝手な親から逃れ、姉妹で生きることになった理佐と律。ネネのいる水車小屋で番人として働き始める青年・聡。水車小屋に現れた中学生・研司…人々が織りなす希望と再生の物語。 2024年本屋大賞ノミネート作
存在のすべてを	塩田 武士	平成3年に発生した誘拐事件から30年。当時警察担当だった新聞記者の門田は、旧知の刑事の死をきっかけに被害男児の「今」を知る。異様な展開を辿った事件の真実を求め再取材を重ねた結果、ある写実画家の存在が浮かび上がるー。 2024年本屋大賞ノミネート作
成瀬は天下を取りに行く	宮島 未奈	中2の夏休みの始まりに、幼馴染の成瀬がまた変なことを言い出した。コロナ禍、閉店を控える西武大津店に毎日通い、中継に映るといのだが……。さらにはM-1に挑み、実験のため坊主頭にし、二百歳まで生きると堂々宣言。今日も全力で我が道を突き進む成瀬。 2024年本屋大賞ノミネート作
レーエンデ国物語	多崎 礼	空を舞う泡虫、乳白色に天へ伸びる古代樹、湖に建つ孤島城。その数々に魅了されたユリアは、はじめての友達、はじめての仕事、はじめての恋を経て、やがてレーエンデ全土の争乱に巻き込まれていく。 2024年本屋大賞ノミネート作
ブラック・ショーマンと覚醒する女たち	東野 圭吾	亡き夫から莫大な遺産を相続した女性の前に絶縁したはずの兄が現れ、「あんたは偽者だ」といいだす。女性は一笑に付すが、一部始終を聞いていた元マジシャンのマスターは驚くべき謎解きを披露する。果たして嘘をついているのはどちらなのかー。

シャーロック・ホームズの凱旋	森見 登美彦	舞台はヴィクトリア朝京都。洛中洛外に名を轟かせた名探偵ホームズが……まさかの大スランプ!?この手記は脱出不可能の迷宮と化した舞台裏からの報告書である。謎が謎を呼ぶ痛快無比な森見劇場、ついに開幕!
放課後ミステリクラブ 1 金魚の泳ぐプール事件	知念 実希人	夜の学校。プールに放たれた金魚。だれが、なんのために? 4年1組の辻堂天馬・柚木陸・神山美鈴、通称「ミステリトリオ」が先生の依頼で動き出す! 2024年本屋大賞ノミネート作
おすしが あるひ たびにでた	田中 達也	マグロのおすしが山へ、海へ、砂漠へ、旅に出ます!めざす目的地はおすシティ!身近なものを見立ててつくられた砂浜や雪山、砂漠の遺跡を、マグロのおすしが大冒険。

【お知らせ】

月刊誌も配架しています。ぜひ、ご利用ください。

■NHKテレビテキスト「囲碁講座」 ■「すてきにハンドメイド」

■「ESSE」

